



注意されると物に当たる娘が心配

小学1年の娘についての相談です。こちらが注意したり助言したりすると、怒って「ごめんなさい」と泣き叫び、足をバタバタさせてぐずります。その後は2階に行き、時々消しゴムを噛みちぎったり、布団によだれを垂らしたり、物に八つ当たりしたりします。別に怒っているわけではないと本人にも伝えていますが、なかなか理解してもらえません。本人に聞く「自分でも何でこんなふうになるか分からない」と言います。一時的なものなのか病的なものなのか、心配で悩んでいます。

先生、教えて!

子育て・教育相談コーナー



宮城県利府町

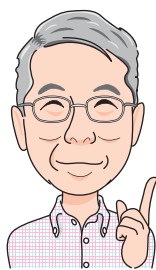
40代・主婦

からの質問

●回答してくれた人

本間 博彰さん

出身。医学博士。宮城県子ども総合センター所長などを歴任。東日本大震災後は被災地の子どもの心のケアにも従事。2018年から星総合病院(郡山市)精神科部長。



このコーナーは保護者からの子育てや教育についての相談を募集しています。メール、郵送のほかQRコードから応募できます。

▷記入事項 氏名、年齢、職業、住所、家族構成、電話番号、メールアドレス

▷宛先 〒980-8660 河北新報社こども新聞係。メールアドレスkyo pro@po.kahoku.co.jp



お子さんが精神的にピリピリしている背景には、入学後の生活に強いストレスを感じていることが考えられます。

1年生は、それまでの生活とは違った新たなルールや課題に、自分の力を駆使して取り組むことが求められます。困った時も先生に助けを求められず、場合によると、家に帰るまで我慢しなければならないことが増えます。

こうしたことで不安となり、学校生活に行き詰まるような気持ちになることがあります。この感情や苦しさを言葉にできれば楽になり、親や先生に分かってもらえますが、できないと心の中がどうにもならない混沌とした状態になることがあります。

気持ち押し量り共感を

泣き叫んだり足をばたつかせたりするのは、言い換えれば自分でもどうにもならなくてじだんだ踏んでいる姿ですね。また、学校生活をうまくやれないことで惨めな気持ちや、親に申し訳ないという気持ちを抱いていることも考えられます。

大人が押し量って、「苦しいね」「どんなことで困っているのか一緒に考えてみよう」「学校で何が大変だった?」と共感的に言葉をかけることが最初の一步だと思います。親が動揺したり不安を強めたりすると、その気持ちが伝わり、子どもが一層不安になりますので、親の不安を減らす目的で専門家に相談することも一計です。